

2012年～2013年の活動

2012年

3月
「北陸優良住宅の会」発足式
in 福井新聞社 風の森ホール



8月
国の地域型ブランド化事業に採択!
県内42棟の家族が、補助金を活用



福井新聞社提供
(平成24年9月16日付)

11月
福井工業大学 建築生活環境学科
「企業の方と語る会」開催
建築を目指す次代の人材育成活動を
スタート



2013年

■補助金(予定)
◎地域型ブランド化事業
「長期優良住宅」に補助金(100万円)
◎木材利用ポイント(30万円)

■セミナー(予定)
◎住宅省エネルギー
施工技術講習会を開催
◎福井工業大学 建築生活環境学科と、
建築を志す若い人材育成

■ホームページ オープン



福井のロングライフ住宅は、
「私たちしかできない」。

福井県内の住宅のうち、地域工務店が建てる家族は5割以上。これは全国でも高く、地域に密着した地域工務店・建築家を信頼いただいている証です。1000年2000年と、家守り人として、家の保守・メンテナンスをお約束できるのは、地域で生きる工務店・建築家。会員たちは「ホームドクター」の役目を果たしながら、「福井でロングライフ住宅をお届けすることができるのは、私たちだけ」という強い思いを持っています。



「北陸優良住宅の会」
会長
川端武志氏
(株)川端工務店 専務取締役

大手メーカーと同等の性能。
それ以上の“超密着力”。

宣伝力の違いなどから、地域工務店は大手メーカーに比べ性能が疑問視されるイメージがあります。しかし長期優良住宅なら、「耐震性」「省エネルギー性」「維持保全」などが認定されるため、その性能はどの住宅も同じレベル。その上、地域工務店は全国均一の家ではなく、奥越・坂井・福井・丹南・嶺南それぞれの地域の気候風土に定める構造やプランなどのノウハウを持っています。私たちの強みはこの「超密着力」です。



同副会長
吉村哲一氏
(株)太田忍工務店 常務

福井の“家守り人”とつくる家、
ここがポイントです。

地域工務店約100社の個性。
ホームページなどで発信。

認定長期優良住宅ならではの「耐震性」「省エネルギー性」「維持保全」などの性能と、アフターメンテナンスを基本に、地域工務店約100社がさまざまな個性を持っています。「県産材を積極的に活用する」「手刻みの伝統工法をお届けする」「高気密高断熱工法にこだわる」「若い家族のこだわりのデザインにこだわる」「大規模リフォームを得意とする」……その魅力を、今後はホームページなどで発信していきます。



同副会長
山崎哲嗣氏
山崎建設(株) 常務取締役

福井の家づくりとリフォームは、
福井を知り尽くしたプロたちへ。

会の皆さんは、森で木を切る人、製材する人、住まいを設計・施工する人までアロバカリです。私たちは、この「北陸優良住宅の会」というブランドを、県民の方に広めていくとともに、このオールスターの力を次代に継承するため、人材育成にも力を入れています。またリフォーム設計・施工の実績は、地域工務店が秀でています。一生涯住む家、次代、三代と住み継いでいく家は、地域の工務店・建築家が守っています。



同事務局長
田中陽介氏
(株)タッセイ 常務取締役

福井の “家守り人”とつくる家をご存じですか?

ふくいでいい暮らし 「北陸優良住宅の会」

福井を知り尽くした、家づくりの“オールスター150社”でつくる「北陸優良住宅の会」。昨年、国の地域型ブランド化事業に採択され、「北陸優良住宅の会」会員の工務店で建てた42棟の家族が、1戸あたり最大120万円の補助金を受け取る見込みで、補助金制度は今年も続く予定です。福井の家づくりは、「北陸優良住宅の会」の“家守り人”とつくる家を知ることから始まります。



「北陸優良住宅の会」って?

福井の地域工務店・設計事務所を中心に、原木供給者、製材事業者、建材流通業者などが集い、昨年、「北陸優良住宅の会」を結成しました。会が目指すのは、県産材を使った福井の風土にかなう長期優良住宅をお届けし、福井の林業、住宅関連産業など地域経済の発展にも貢献することです。中心メンバーは、次世代を担う地域工務店の若手経営陣です。

福井型長期優良住宅って?

国はロングライフ住宅を提唱。「耐震性」「省エネルギー性」「維持保全」などの基準を設け、長期優良住宅の認定を行っています。「福井型長期優良住宅」は、その認定をクリア。福井の森で育った木を、福井の人が切り、その木を使って福井の工務店や設計事務所が設計・施工し、メンテナンスを実践。「地産地消の家」をお届けします。

家をつくる家族に どんなメリットがあるの?

地域とともに生きる地域工務店。そのスタッフである「家守り人」がメンテナンスを続け、100年、200年と住み継がれる家を守っていきます。万が一工務店が事業を継続できなくなっても、住まいの基本データを第三者機関がクラウド上でストックすることで、会がチームとしてメンテナンスを実施。未来にわたって安心をお届けします。

「地域型住宅ブランド化事業」の 補助金って?

「地域型住宅ブランド化事業」は、国が推進している事業。地域工務店や原木供給者、製材事業者、設計事務所を含めたグループを対象に、地域全体で長期優良住宅の生産体制をつくるグループを採択し、木造の長期優良住宅を建てると補助金が交付されます。「北陸優良住宅の会」は昨年、見事採択となり、会員の工務店で建てた42棟の家族が、1戸あたり最大120万円の補助金を受け取る見込みで、補助金制度は今年も続く予定です。



受け継がれる住まい

sumine ~すみね~
sustainable mine

◆sustainable……永きに渡って持続可能な
◆mine……私たち家族のふくいでいい暮らし

家づくりのオールスターチームで、安心の長期優良住宅を!

住まい手と
つくり手が
一緒になって
創る。